

# だいせん

# 議会だより

DAISEN GIKAI DAYORI

創刊号

2005.8.2



プールが大好き!!

6月定例会/2P

議員「私の思い・自己紹介」/4P

ここが聞きたい「11人が2日間にわたり一般質問」/7P

議会構成/17P

委員会の動き/18P

「みんなの広場」/20P

# 会計予算 5万円を可決

会計予算をはじめ、条例改正など28議案が提出され、意見書は6件を可決し、国に意見書を送付しました。



開会を宣言する鹿島議長

## 平成17年度一般会計予算

### 質疑

**問** (二宮議員)

自動車事故による損害賠償の議案で、相手方の住所・氏名は報告し、当事者の氏名を伏せているのはなぜか。

**答** 個人情報という観点もあり、今後検討したい。

**問** (西山議員)

自治体における危機管理は重要な施策。行政・社会・経済的な危機管理も含め、危機の分類、類型をどのように考え、予算計上したか。

**答** 防災計画、国民保護法に基づく危機管理等も含めて、全般的な危機管理に取り組んでいくことが重要と考えている。

**問** (西山議員)

事業の経済性、効果性、効率性といった行政活動評価基準は、予算書に反映されているか。

**答** 合併をして2カ月余りであり、行政評価の仕組みづくりが立ち遅れている。今後の課題と認識している。

**問** (秋田議員)

税金等の滞納徴収についての改善策は。

**答** 給与、預金等については、積極的に差し押さえしていきたい。今後の徴収体制は税に限らず、他の料金等もあわせて税務課の職員を中心に最少限の滞納にしたい。

**問** (足立議員)

新町まちづくりプランについて、大山を活かしたまちづくりの推進体制は。

**答** 計画立案や、各事業をコーディネートするために、大山振興室を設置する。

**問** (森田議員)

集落コミュニティ活動補助金1100万円の詳細は。

**答** 集落の活性化のための補助制度。一集落

に、均等割として3万円と、集落の世帯数に1200円を乗じた額の合計を補助する。区長手当もこの補助金から賄ってもらいたい。

**問** (椎木議員)

中山間地域直接支払推進事業交付金について、今年度からは、支払基準が厳しくなり、10割交付の場合と8割の場合があるが、予算は全て10割の金額で計上してあるのか。

**答** 従来のような取り組みをした場合には8割。新規のメニューを追加して行う場合は、10割の交付金が出る。事業推進のため、予算は10割交付で計上している。

**問** (諸遊議員)

大山地区芝グラウン

# 平成17年度一般会計 100億9,700万

合併後、初めての定例会は、6月16日から30日までの15日間の会期で開かれました。平成17年度予算等審査特別委員会を設置して慎重審議の結果、すべて原案通り可決しました。また、陳情に関する一般質問では、11名の議員が新大山町の課題についてたずねました。

ド整備支援事業補助金  
3430万円はなにか。

協議会とはどのような  
団体か。

ている。街並み協議会  
は、この事業を行うた  
めの計画策定方針、整  
備目標等を地元住民が  
協議する会。100万  
円の補助金(国1/3、町  
1/3)を計上。

めの施設を設置する考  
えはあるか。

**答** 夏場の合宿等を誘  
致するために、大山旅  
館組合等が新たにグラ  
ウンド整備する場合に、  
県と町で3分の1ずつ  
助成をするもの。

**答** 国土交通省主管の  
街並み環境整備事業と  
いう事業の一貫で、大  
山地区において、平成  
の初頭から取り組んで  
いる。平成16年度まで  
に、大山寺の山道エリ  
アの整備が完了。本年  
度からスキー場に至る  
エリアの整備を予定し

**問** (岩井議員)  
今年度改築する、大  
山学校給食センターに  
ついて、米飯給食のた

**答** 学校給食改善の方  
策を検討する委員会を  
立ち上げる予定。地産  
地消を含め検討したい。

**問** (岩井議員)  
「大山てねこの会」  
に補助金が出ているが、  
どんな活動をしている  
か。

**問** (岩井議員)  
今年度改築する、大  
山学校給食センターに  
ついて、米飯給食のた

**問** (岡田議員)  
給与費明細について、  
職員数が21名減になっ  
ているのに、職員手当  
管理職手当が大幅に増  
えているのはなぜか。

**答** 旧大山町、中山町  
では、課長補佐に管理  
職手当を支給していた  
が、名和町では管理職  
手当は支給していなか  
った。合併時の調整で、  
全ての課長補佐に給料  
月額6%の管理職手  
当を出すことになった  
ための増額。

**答** 大山旅館組合の若  
手経営者の皆さんを中  
心に組織されているゲ  
ループで、大山を中心  
とした地域の環境美化  
等の奉仕活動をしてい  
る。

**問** (岩井議員)  
街並み協議会活動補  
助金について、街並み



大山町議会も6月議会初日からクールビズにしました。

# 議員の顔ぶれ

づくりに頑張ります。

による選挙で21人の議員が誕生しました。

②自己紹介」について述べました。

落名、右側は氏名（年齢）です。


塩津



鹿島  
功  
(50)

① 私は、次の三つに力を入れる。  
一、財政問題に取り組み、行財政改革実現に向け努力する。  
二、農業問題に取り組み「農は国の基なり」という信念を元に大山町農業をさらに発展させたい。  
三、教育問題に取り組み、教科書問題にも積極的に力を入れたい。  
② ブロccoli・梨を栽培する専業農家。趣味は読書。


押平2区



吉原美智恵  
(52)

① 家事・育児・仕事に邁進して来た28年間の経験を土台に、できる限り視野を広げ、皆様の声を行政に、行政の想いもまた皆様に伝え、“一粒の麦”になるべく、努力し行動します。  
② 何事にも不器用でアンバランスな性格です！強気かと思えば引っ込み思案、友人とワイワイ騒ぐことも、一人で静かに美術館巡りをする也喜欢です。


曲松



西尾寿博  
(51)

① 大山町の豊かな財産が、住民の豊かさに結び付いていない。自然を守りながら発展させたい。「キーワードは‘水’」  
② 今年6月、初めての大山町中山地内で中国予選を兼ねた県高校総体の自転車ロードレースを開催する事が出来ました。住民の方のご協力ありがとうございました。来年は中国大会が決定しています。「全国大会を大山で！！」


上前谷



近藤大介  
(38)

① 「地方分権」により、地方が自立する時代になりました。自治体ごとの力量が、今、問われています。大山の素晴らしい恵を活かし、故郷を次の世代にしっかりとつないでいくため、皆さんとともに考え、活動していきたいと思えます。  
② 元名和町役場職員。ホームページ  
[http://www.geocities.jp/daisuke\\_change/](http://www.geocities.jp/daisuke_change/)


国信



森田増範  
(51)

① 秀峰大山から日本海まである広大な大山町。この恵まれた環境・立地を生かす、今ある魅力に磨きをかけるまちづくりに取り組みます。  
② 好きな鉢花生産を始めて13年目。健康づくりのため、昔とったキネツカ？1年前からバドミントンを復活、いい汗流しています!!


御来屋二区



敦賀亀義  
(57)

① 合併により新大山町が誕生しました。大山町は海山に囲まれ資源に満ちた町であり、これを発展させ活気あふれる町となるよう議員として微力ながら努力して参ります。  
② 私は旧御来屋町の海辺に生まれ漁業に従事し、その間地域漁業の発展の為に尽くして参りました。今では県漁協理事御来屋支所長を務め現在に至っています。

坊領



遠藤幸子  
(57)

① 合併で大山町は広くなりました。大山の頂から海まで、豊かな自然、海の幸、山の幸と美味しいものがいっぱい町。人と人とのつながりを大切に、誰もが安心して暮らせる町づくりを皆んなで考え、一人一人の想いが町づくりに生かせるように、その想いを伝える役割を、私はやりたいと思えます。  
② 実行。誠実。好きな言葉です。

# 新大山町

## まち

4月24日、合

「①私の想い」

写真の左側は

旧  
奈  
和



岩井美保子  
(61)

① 教育民生常任委員会に所属。そして真の男女共同参画社会をめざし、7月13日から20日の8日間ニューヨークに学ぶため研修に出かける。与えられた4年間の議会活動を頑張る覚悟である。

② 中学時代にバスケット部に所属。当時の体育の先生に精神的に鍛えられた。そのバスケット精神が今でも脈々と燃えている。

東  
谷



川島正寿  
(62)

① 新大山町誕生を慶ぶと同時に議員の使命を痛感しています。

行財政を再検討し、経済性・効率性・有効性の確立に視点をおきたい。誰の為の町政が原点に戻る時だと思う。農業・福祉・環境対策の充実を図りたい。

② 米子南校卒、2級建築士、会社役員、身体障害者福祉協会会員。山歩き・温泉・歌を好む。

安  
原



諸遊壕司  
(54)

① 議員活動は1日24時間、1年365日であると肝に銘じております。議論ばかりでなく、「百の論議より一つの実践」をモットーに町民の目線で活動致します。

② 名前は諸々に遊ぶと書きますが、実際はパチンコ・マージャン・馬等した事はありません。少々の煙草と少々の酒、そして夢のある話が大好き人間です。

羽  
田  
井



尾古博文  
(65)

① 合併して約3カ月たち旧3町の温度差は感じられるが、これからは町民、行政、議会が三位一体となり行財政改革と活性化対策の調和を計っていかねばならない。福祉の充実、特に少子化問題、地産地消によって農業の振興をし、自然豊かな町に子ども達の元気な声が聞こえてくる、合併をして良かったと言われるような町にしたい。

束  
積



秋田美喜雄  
(60)

① 現場の生の声を議会に反映させ、農業等の活性化に向けて、新町のために働いて参ります。

また、食農教育・食育にも関心があり、子ども達とも一緒に勉強が出来たらなと思っています。

まだまだ分からないことが多いですが、新町のまちづくりに一生懸命頑張ります。

中  
高  
一  
区



岡田 聰  
(66)

① 私を育ててくれた、この大山町をこよなく愛する一人として、地域の発展と、安心して心豊かに暮らせる町づくりに尽力したい。

また、一人一人が大切にされ尊重し合う町を目指して、更に行財政改革を提言し見守りたい。

② スポーツ好き。特にバレーボールが大好き、ソフトバレーボールは現在も続けています。

原



小原力三  
(59)

① 農業問題に対し、担い手育成に重きを置き取り組みます。

地域主導の地域づくり村づくりに挑戦します。

② 家族は2人、家は農家、米作り・梅・ブルーベリー、毎日大変な農作業ですが頑張ってます。趣味は旅行・釣りです。

大  
山



足立敏雄  
(54)

① 私は、大山で商売をしている関係もあって、やはり地場産業の活性化を強く思っております。新大山町の農業・漁業・商工業・観光業の発展のため一生懸命がんばります。

② 子どもの時からスキーをしていた関係で、全日本指導員の資格を持っています。前大山国体のジャンプの競技委員長もしておりました。

赤坂



野口俊明 (56)

- ① 合併に期待された、効率的な行政運営、広域的な視点に立ったまちづくりの展開を基本に調和と活力のあるまちづくりを考えていきたい。
- ② 感謝の気持ちを忘れぬこと。山・川・海が好き。

赤松



椎木学 (56)

- ① 昭和の合併から50年、新しい町が誕生しました。人・町・行政には個性と歴史があります。お互いを尊重し補完しあってこそ、信頼感・一体感が生まれ、新しい発展が望めます。新大山町に求められるものです。その想いで議員活動をしています。
- ② 子年の56歳です。大山町の西端、赤松で農業。孫と一緒に7人家族。5期目になります。

小竹



二宮淳一 (66)

- ① 合併協に席をおいた者の1人として、また新町まちづくり調査特別委員長として、住民相互が真に心のふれあう公正・公平な政治を目指します。
- ② 学業を終えて銀行に勤務。後に緑化事業に転身。55歳で議員となり通算4期。旧大山町に生れ、旧名和町で生活、合併により故郷に帰った思いです。残りの人生を故郷発展に捧げたい。

押平三区



西山富三郎 (70)

- ① 個性のある自慢話しのできる生き生きとした町を実現すること。行政は国・県に向けていた姿勢を住民に向け、「みんなで考えて行う行政」へ転換すること。これが結集されて国全体の繁栄に結びつくと思う。
- ② 人の値うちを生まれた所できめてはいけない。人権を拡大する行政の推進を使命とする。国体相撲の部 出場6回

旧奈和



荒松廣志 (57)

- ① 合併して良かったと言う声が一人でも多くの町民から聞く事の出来る町になる様努力していきたい。
- ② 何事にもストレート勝負。

中林



沢田正己 (78)

- ① 旧町と新町のかげ橋を築くために微力を尽くす。健全な財政、人権施策、同和教育の推進、産業の振興、梨農家の育成、ひたすら故郷を愛する。
- ② 4人家族。梨・米づくり農家。

# 選挙管理委員を選任

6月定例議会において、新町の選挙管理委員4名及び同補充員4名を選任しました。



選挙管理委員  
野口駒治朗さん  
(上木料)



当別当 栄さん  
(束積)



金田満邦さん  
(上中高)



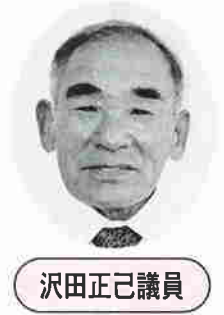
杉原 潔さん  
(御来屋8区)

## 選挙管理委員補充員

- 第1順位 古志 公さん (安原)
- 第2順位 高見照男さん (塩津)
- 第3順位 細谷恵子さん (古御堂)
- 第4順位 金田英樹さん (長田)

## 問 新大山町長の所信表明を

## 答 7つの目標でまちづくり



沢田正己議員

**問** 山口町長の町長選挙出陣式に出席した際、町長の町政に対する考え方を聞き、大変感動した。町民に対し、改めて町長の発想、又構想を発表願いたい。

- ① 大山を核にした産業の連携  
② 若者定住の環境づくり  
③ 地域福祉、地域医療の充実  
④ 地域コミュニティの活性化  
⑤ 人に優しいまちづくり  
⑥ 地球に優しいまちづくり  
⑦ 住民自治と行財政運営の取り組み

効したが、その後の町長の考え方は。  
(2) 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律（平成12年施行）についてどのように考えるか。

## 18年度の交付税の見通しは

**問** (1) 17年度の地方交付税は、44億6000万円、一般会計予算歳入の44%を占める。18年度以降の地方交付税はどうなるのか。

答 (1) 17年度の地方交付税は、44億6000万円、一般会計予算歳入の44%を占める。18年度以降の地方交付税は、三位一体（国の補助金の廃止、国税の地方交付税への振り替え、地方交付税の見直し）改革による3兆円の減額、町財政にどのような影響を与えるか。  
(2) 合併特例債についての考え方は。

**問** 今年は干ばつによる農産物の被害が心配されるが、果樹共済掛金への町補助金があり梨生産農家は助かっている。来年度以降も継続の要望が強いが、町長の考えは。

## 果樹共済の補助継続を

**答** (山口町長)

梨は地域の経済を支える特産品。栽培農家の経営安定、生産力の向上のため、平成18年度以降も何らかの形でこの取り組みを継続していく必要があると考えている。

町民の心のふるさと「大山」をシンボルに、町民が心を一つにして、目的を共有化できれば素晴らしいまちづくりが展開されるものと信じ、7つの目標を掲げている。

## 同和問題の認識は

**問** (1) 地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律が平成14年に失

効したが、その後の町長の考え方は。  
(2) 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律（平成12年施行）についてどのように考えるか。

**答** (山口町長)

(1) 地域改善対策特定事業終了後においても、同和对策審議会答申の精神を踏まえ、同和問題の解決に向けて努力する必要があると強く認識している。  
(2) 部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃と人権確立に向けて教育・啓発を推進することを目的とした法律であり、積極的に教育・啓発を推進していきたい。



小学生の梨作業体験

### 問 学校教育と地域の連携

### 答 地域の人を活用している

**問** 学校教育において保護者・教師・子供の意思のコミュニケーションが不可欠であるが、子どもの少子化と保護者の意識の変化に伴い、地域との深い関わり、共に見守っていく眼差しが必要と考えている。

方法については、ゲストティーチャーとして人材バンクを作り、必要に応じて学校がお願いするという形が多くある。合併により地域が広がったので、広域的な活用を指導している。

**答** (山田教育長) 本町の小学校、中学校では、地域社会との係わりを深め、開かれた学校を目指している。授業時間に地域の方々にゲストティーチャーとして呼び出し成果等をあげている所である。



夏休みも安全にすごさせたい。

### 問 昼間の学校警備は

### 答 危機管理に万全を期す



吉原美智恵議員

**問** 学校の警備は現在夜間のみであるが、現代において、生徒が居る昼間、警備体制をとる考えはないのか。

**答** (山田教育長)

昨今の状況を見ると学校の安全確保は重要であると認識している。現在、八橋署の学校巡回や地元の駐在所の定期パトロールをして頂いているので、昼間の警備員配置は考えていない。

### 問 ゴミ袋の再検討を

### 答 合併協議会で決定

**問** ゴミ袋が合併に伴い一枚100円ということになり、全住民が十分納得しているとは言えない状況である。また、少子高齢化の中、乳児を抱えた核家族では、子育ての苦労の上に、家計が苦しく、私の調査では、新生児の紙オムツ用に、一週間一袋余分に必要という状況である。また、高齢家庭では、今のゴミ袋の半分ほどの大きさのものが切望されている。この問題についてキメ細かい再検討の考えはないのか。

### 防災行政無線放送

**答** (山口町長)

**問** 旧名和町では、10時と3時に健康体操があり、外で働く人達の時報替わりとなっていた。たいへん便利であったものが無くなり、困っているということである。せめて、チャイムか音楽を流されてはどうか。区長を通してのアンケートの考えはないか。

**答** (山口町長)

ゴミ袋一律100円は、合併協議会でゴミ減量の観点の議論の中で結果である。鳥取県西部の最終処分場の残容量考慮の上、旧大山町方式を採用した。個々の事情の中で理解する部分はあるが、取り合えず運用しかけていますので、時間をかけて検討していく必要がある。





西山富三郎議員

**問** 執行部と議会は「抑制と均衡」、「勢力均衡」の位置にある。

緊張関係の中に誤りなき行政執行と住民意志の反映を期待して作られた制度である。

(1) 車の両輪とはどういうことか。

(2) 議会の使命、議員の職責をどう期待するか。

(3) 邪は正に勝たずの行政を貫くか。

### 問 長と議会の関係

### 答 節度ある権限行使

**答** (山口町長)

(1) 両者の対等と協力の関係により、行政が円滑に遂行されることになるため、車の両輪といわれる。

(2) 職務権限を踏まえ節度ある権限行使を行うべきである。

(3) 首長や行政活動に対し民主、公平、透明、

効率の観点から監視、けん制、批判機能を果たし、さらには審議、立法機関として議会機能を強化し政策提言も有用と考える。

(3) 公平・公正な立場の中で住民の意見を聞き、職員共通理解の中から進める。

### わが町の監査 どうする

**問** (1) 町村関係者の方々の監査に対する意識を変えることが急務と思う。

(2) 住民に監査結果をどう周知するか。

**答** (椎木代表監査委員)

(1) 単なる非違、不正の摘発ではなく、公正かつ効果率的な指導により、地方行政の適法性及び妥当性を保障したい。

合併協議会の決定事項等正確に執行されているか特に取り組む。

(2) 住民に公表しなければならぬが意見書は載せることは求められていない。

掲示板、議会報、広報等への掲載も考えなければならぬ。

ら脱し、下向きになつて行う行政「住民のため」に何をなすべきかの行政に転換しなければならぬ。

何を創造するか新しい発想で考えるところに町村の使命がある。

(1) 市町村優先の原則とは。

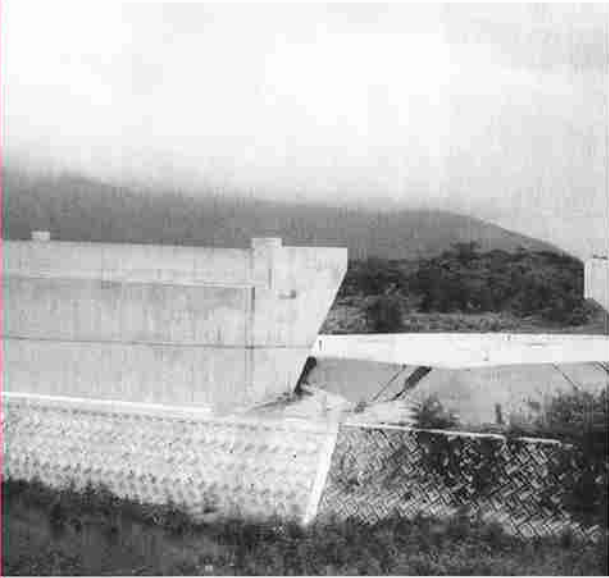
(2) 補完性の原理とは。

**答** (山口町長)

地方自治の本旨に基づき、自らの町づくりは自ら考えアイデアと知恵を出し合うことにより、国に先がけて政策を作り出す、つまり「末端」から「先端」への潮流ができていくように感じている。

原理・原則は理解しきれないものがあるが、地方行政の究極の目的は地域住民の福祉の推進を図ることであり、自主的総合的に実施することでもある。

住民に密着した住民本位の行政を展開していく。



順調に工事が進む押平所子線の押平渡し

### 押平所子線 接続計画を見直せ

**問** 町道押平所子線の改良工事が行われている、接続地点は片木アルミ前である。

これよりは県道中高妻木線に接続した方が

よいとの声が多くある。早急に取り組まれない。

**答** (山口町長)

この道路は、現在の道路の機能回復を図るのが目的であり、現在の道路への接続が必要である。

### 問 これからの町の使命は

### 答 国に先がけ、末端から先端へ

**問** 地方分権時代を迎え、上位下達の姿勢か

提案されたルートについては十分認識しており今後、利便性、安全性等、選考し調査に入りたい。



森田増範議員

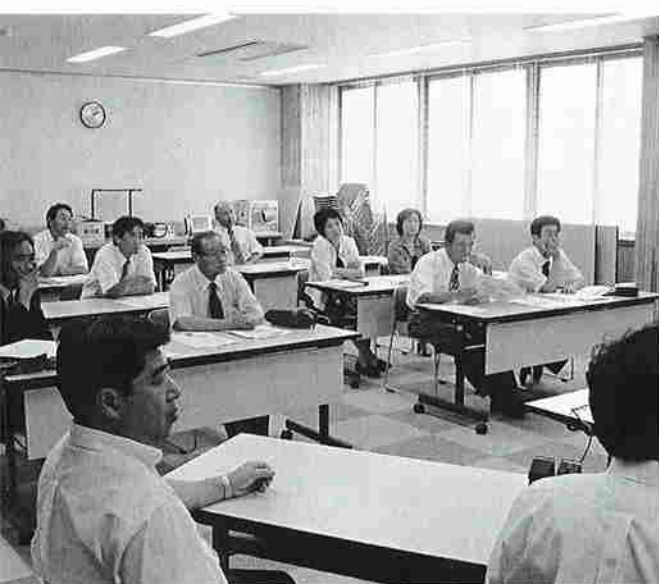
**問** 情報通信基盤整備事業は慎重に

**答** 検討委員会を組織し万全を期す

**問** 新町まちづくりプランにある総額30億円規模の本事業実施にあたり、設計管理料等委託料が予算計上された。町の厳しい財政状況の中、ネットワーク方式やインフラ活用策について、費用対効果の視点で十分協議し、方向性を見定め事業展開すべきではないか。

**答** (山口町長)

事業概要は、光ケーブルを利用したインターネット環境整備・地域情報を提供する自主放送・テレビの難視聴対策・多チャンネル化サービスのためのケーブルテレビ網の整備等である。実施主体の町がその内容について可能な限り精査し、住民



7月20日、先進地の日南町を視察をした。

**問** 合併協議決定事項の見直しを

**答** 必要であれば見直す



諸遊壕司議員

サービスや将来性を見極め、実施設計に反映しなければならぬ。また各方面の有識者を加えた検討委員会を組織し、万全を期したい。

**問** (1) 合併の第一目的は、住民サービス・福祉サービスの低下を防ぐための合併である

と旧大山町長から説明を受けた。しかし、合併してみると余りにも事前の説明とかけ離れた合併協議事項に、多くの町民がガッカリしているのが現実である。

合併協議決定事項に多くの町民が不満不足を持つならば、真摯に受けとめ早急に改善すべきと思う。

(2) 年毎に高齢化が進む中、社会教育・社会体育は重要な課題である。施設利用料年間750万円徴収するよりも、無料化して利用率を上げ、健康な心・健康な体づくりをした方が、全体から得る収支はプラスになる。

**答** (山口町長)

実際に運用をしてみても問題が生じた部分は、その都度その課題を整理し、必要であれば見直しを

直しながら取り組んでいく。

公益性・公平性の観点からも、また減免制度も設けているので受益者負担を基本に施設運営を行う。

**問** 香典返し等の金額公表は不用

**答** 社協で検討すべき

**問** 社会福祉協議会の会報に、香典返し見舞返しの金額が載っており不愉快であるとの声を聞く。

個人情報保護、人権問題等を考え、公開公表はすべきでないと思う。

**答** (山口町長)

寄付者の意向に沿って掲載されているのが現状で、町長の立場で協議の中には入れない。社会福祉協議会の方で、そういった議論を踏まえて検討を頂く。



有料となった高麗体育館

**問** 予算編成の基本姿勢は

**答** 早急に行財政改革の指針を示す



小原力三議員

**問** 新町が発足し、執行部、議員も心機一転、新たな決意で、町民の負託に応えていかねばならない。17年度予算の編成に当たって、各部署からの予算要求に対し歳入不足が生じた

(1) 予算編成に当たり、初代町長として、財政改革に、どう取り組み示せるのか、町民に具体的に示せ。  
(2) 予算は総花的もやむなしと思うが、部署要求額を大幅カットされたものは何か。それは何故か町民に示せ。

**問** 大山町の農業政策は

**答** 地域の特色を活かした農業振興を

**問** 農業問題は大きな転換期にあり、また、高齢化に伴い、農家は困惑しているのが実態である。町長は大山町の農業をどの様に舵を取っていくのか、

(1) 17年度予算で切り捨てたもの、又新しい取り組みは。  
(2) 米価と減反政策をどう考えるのか。  
(3) 農業、漁業、林業その他の制度資金の広報活動は。

**答** (山口町長)

国の三位一体改革の中でも、交付税総額や補助金削減が示され、予算編成に苦慮したところである。合併の有无にかかわらず今後とも財政運営は厳しくなる一方であり、合併を選択したことにより町民の皆さんの、ご要望を取捨選択しながら、必要不可欠な社会資本の整備と効率的な財政運営により、新大山町の発展を目指さなければと考えている。

**答** (山口町長)

(1) 切り捨てたものはない。  
(2) 地域水田農業のビジョン作り、生産数量調整方式、産地作り交付金の創設など新たな取り組みを今後とも制度の有効活用を図っていく。  
(3) それぞれの分野での制度資金を広報することにより、町民に理解を深めてもらう。

**問** 補助金削減の考え方は

**答** 限られた財源の有効活用を模索中



遠藤幸子議員

**問** 団体活動に対する補助金削減について問う。合併協では旧3町に共通した活動のみ補助

**問** 新しいまちづくりの力に女性団体を

**答** 女性の活躍、力に期待

**問** 施政方針で各種団体の育成に努力と述べているが今回は女性団体の育成について問う。

男女共同参画の時代とも言っても、能力があるのに場を与えられてもしりごみみをする女性が多い。団体の育成の中で女性の意識が変わらなければ、と考える。是非新町にも女性の

助とあるが町長の考えは。長年地域に根づいた活動が、旧町独自にあると思うがその活動に対しても同じ扱い方をすべきでないか。

**答** (山口町長)

合併協では補助金の取扱いを改廃を含めて

参画を。

**答** (山口町長)

旧3町では構成団体に若干の違いは有っても活動内容は承知。現在新しい組織づくりに協議中と聞いている。行政とも協力して、町づくりに取り組むことを期待している。町としても各種の委員会、



毎年開催している婦人レクリエーション大会

検討、新町で調整とした。基本的に補助金とは、目的を達成するまでの一定期間、団体等の自立を促すための支援と考える。しかし一定の補助金のあり方の方向を整理し、活動の内容を検討して基準を決める必要を感じている。新しくふるさと活性化事業補助金を予算化している。担当課と協議しながら活用して欲しい。



西尾寿博議員

**問** (1) 近隣の三朝町の三徳山も頑張っているが、本町の「大山」、も歴史、文化、観光的にも世界遺産に匹敵するような財産だと感じている。

観光の中核である大山寺は近年スキー客の減少など、泊り客に至っては半減あるいは3分の1と、本町に待ったなしの状態にある。町づくりの大きな柱である「大山」について具体的な施策、構想を聞きたい。

**問** 大山の具体的な施策と構想は

**答** 大山振興室を立ち上げて対応する

と、数百人の雇用を生み出すと報道があった。本町の水資源の有効利用あるいは、企業誘致などは、どの様に考えているか。

**答** (山口町長) 大山ブランド確立のため、あるいはそういった計画を立てるために「大山振興室」を、7月1日に立ち上げる。観光と産業の連携、地産地消の推進による付加価値の向上、特産品の販路拡大、多くの優れた文化歴史遺産との連携を強化し、観光産業に従事されている皆さんと知恵を出し合い観光客のニーズに对应られるようにしていきたいかなければならない。

(2) 何故、大山町ではないのかという思いを



大山の恵み。きのえ川溪流まつり

**問** メディアの活用方策は

**答** 積極的に大山町を発信していく

私も持っている。大山の生み出す資源は大変有益でこれを生かしていかねければならないと思っている。全国発信できるような企業に求めているだけではない。

**問** 全国にローコストでハイアピールをするにはメディアの利用、そして連携などが不可欠であると考え。本町も様々なイベント、催し物、式典、スポーツ大会等々、官民一体となり精力的に活動している。そしてこの活動報告をしっかりと情報発信することが肝心かと思う。そこで専任の発信者をと、考えるがどう思われるか。

**答** (山口町長) 広報誌や、ホームページ、県への定例報告のほか、直接、報道機関への情報提供を行うなどの方法もとっている。所管する企画についての発信は、所管する各部署で職員も含め切磋琢磨しながらそれぞれ、積極的に大山町を発信していく。

# 農業委員に女性を推薦

議会推薦の農業委員に2名の女性委員を推薦しました。女性の視点で活躍してください。



山根令子さん (山野)



梶村福恵さん (渡道)

## 問 職員数削減の推移は

## 答 定員管理計画の中で決定する

問 大山町役場の正職員、嘱託職員、臨時職員それぞれの人数と将来へ向けての削減の推移は。

答 (山口町長) 特別職を除く職員数は、正職員265人、嘱託職員92人、臨時職員35人である。新町の職員のあり方については、新たに策定する「大山町定員管理計画」の中で決定し、基本的な方針として、退職者の



3割相当数を新規採用し補充する考えである。平成26年度には現在の265人から44人、17%削減の221人となる見込みである。嘱託職員及び臨時職員の大半は、保育士、調理補助員、看護師などで占められている現状を鑑み、保育所の統廃合、もしくは乳児のみを対象とした保育所、3歳以上児を対象とした保育所等の機能分担化や、大山診療所の入院病床のあり方を検討しなれば大幅な削減は図れないと考えている。そのほかにも施設管理部門におけるアウトソーシング(大型コンピュータの運用、保守などを専門業者に委託すること)を視野に入れながら、町民、議会の皆さんと議論をす

る中でその方策を模索する考えである。



岩井美保子議員

- ③ 小さいサイズの袋もしくはスーパの袋の使用許可を。
- ④ 無料配布をやめる。
- ⑤ 100円は高い。

併協議会で決まった事がすべてで、これが出ない課題だとは思っていない。運営をしていく中で問題点があればお互いに協議をして修正をしていくことも必要であり検討はしていく。

## ゴミ対策の改善を

## ゴミの減量化が目標

答 (山口町長) ゴミの処理には大変な経費がかかっている。それを住民の皆さん一人一人の課題として受け止めていただきたいというのが今回のゴミ袋の無料配布と1000円有料化の考え方の根底にある。経費を縮減していく方法はそれぞれみんながゴミの減量化に努めることが一番大切なことである。合

問 ゴミ袋は現在の取り組みが一番よい方法なのか。

- ① 合併協議会での協議の内容。
- ② 以前のゴミ袋の使用を6月末日までにした理由。



答 (山口町長) (1) 町営特定公共賃貸住宅御来屋団地については入居の際の所得基準、家賃は国の算定基準に基づいたものであり、入居者の負担に耐えられ、理解が得られる範囲であると判断している。(2) 住宅明渡請求は過

## 町営住宅の賃貸システム

問 (1) 若者定住化対策に考慮してシステムが動いているか。(2) 町営住宅明渡請求書を発行した事があったか。該当者はあるか。

問 防災行政無線放送で午前十時と午後三時にチャイムを鳴らしてほしい。多くの町民が望んでいる。

## 防災行政無線放送チャイムの追加を

去において家賃の滞納者に対して行った事例が一件ある。現在の入居者の中で明け渡しを請求できる入居者の対象になり得る該当者は13戸ある。

答 (山口町長)

チャイムは、必要とする方もあれば、必要でないという声もある。時間をかけて検討する。

問 今後の財政見通しは

答 必要があれば見直す

問 平成17年度の地方

交付税は、前年度並みがほぼ確保されるようだが、国の財政が厳しい中、今後とも厳しく抑制されることが懸念されている。合併協議会で策定された「まちづくりプラン」の財政推計はやや楽観的過ぎるように感じるが、町長が政策課題として上げる「まちづくりプランの具現化」を進めていく上でも

答 (山口町長)

(1) 「まちづくりプラン」の財政推計は、中長期的な推計となっており、現在の状況は、プランを作成した時点と、そう大きく乖離しているとは認識していない。しかし、この推計が将来にわたって、確実に通用するとも考えていない。本年度策定する総合計画において財政推計についても検証し、地方財政計画や、経済動向に注意を払いながら、見直す必要がある対応したい。

(2) 国の三位一体改革による交付税額や、補助金の削減が図られる中、自主財源の確保と共に、経常的な経費の縮減は喫緊の課題である。具体的には、



近藤大介議員

問 情報通信基盤の整備を活かすソフト事業を

答 18年度以降重点的に取り組む

問 町長が進めるまち

① 各種団体の補助金、負担金について、団体の自立度、その必要性や効果性等を外部の委員等にも依頼しながら検証。  
② 職員の定員管理、適正配置による、給与の抑制。  
③ 公的施設の管理・運営について、指定管理者制度、施設廃止等も含め検討。等、計画的に、行政組織運営の全般や事務事業の見直しを図っていききたい。



山口町長の後援会パンフを手一般質問

(1) まちづくりプランの中で、大山恵みの里構想が提起されている。産業振興の面では、農業サポートセンター(仮称)開設、産業振興センター(仮称)の設立が重要なポイントになってくると思うが、取り組みの方針、実施に向けたスケジュールは、

答 (山口町長)  
(1) 早い時期に検討に入りたいと考えているが、こういった事業をどう機能させて、どういう組織で運営していくか、そこから議論に入りたい。様々な分野の関係者によって構成される組織であり、大変大きな構想であるので、時間をかけ進めていきたい。

が来年度予定されている。基盤整備を機に、パソコン、インターネットに関する町民の関心、能力を高め、農産物のインターネット販売や、観光事業者のホームページの充実など、産業振興の面からも、積極的に活かすソフト事業が必要ではないか。

が来年度予定されている。基盤整備を機に、パソコン、インターネットに関する町民の関心、能力を高め、農産物のインターネット販売や、観光事業者のホームページの充実など、産業振興の面からも、積極的に活かすソフト事業が必要ではないか。





岡田 聡議員

### 問 国保医療費の抑制対策は

### 答 保健・福祉・医療の連携で

**問** 社会保障費の抑制が叫ばれて久しいが、現実には年々増加を続けている。特に国民総医療費は、毎年3〜4%ずつ増え続けている。一方、これに見合う患者の窓口負担増や国民健康保険税の引き上げは、我々の大きな負担となっている。

健康保険・老人保健・介護保険各事業等の財源不足から、一般会計からの繰入金も多い現状であり、国保事業の医療費の過半数を占め、高い伸びを示す老人医療費の抑制が急務である。

(1) 体は動かさない(鍛えない)から衰えるということが科学的に立証されている。日常的に体を動かす事の重要性をPRし、そういう機会を増やし、生活習慣病の予防対策を充実させる。

(2) 医師と保健師と連携し、早い段階での治療や、在宅医療の充実を図る等の医療費抑制の取組みや、町民が健康で居られるような支援が必要と考えるが。



グランドゴルフで健康づくり

**答** (山口町長) 指摘のとおり、国保、老人医療、介護保険給付費は、年々2〜3%の増となっている。(1) 介護予防、生活習慣病予防や疾病予防対策については、積極的に取り組んでいるが、町民の皆さんの健康に対する思いは一樣に高

いと感じて居りますが、自己の健康づくりには、男女間等や個々の温度差が生じている。わかり易いPRに心がけ、誰でも参加し易い、参加したくなるような魅力ある事業中身を検討課題として取り組みたい。旧3町の対比で、一人当たりの医

療費、保険給付費及び介護予防に取組んでいく体制を拡充したい。また、行政が行う閉じこもりの防止や介護予防事業とか機能訓練では限度があり、是非地域で取り組んでもらうように、地域福祉活動事業として少したが予算計上し提案している。

療費、保険給付費及び介護予防に取組んでいく体制を拡充したい。また、行政が行う閉じこもりの防止や介護予防事業とか機能訓練では限度があり、是非地域で取り組んでもらうように、地域福祉活動事業として少したが予算計上し提案している。

### 問 人権教育・啓発をどうすすめるか

### 答 積極的に進めなければならない

**問** 環境改善はもとより、明るい方向に前進しつつあるが、まだまだ多くの課題があり、特に差別事象が後を絶たず憂慮すべき事であり、今後とも人権教育・啓発は重要と考える。

(1) 21世紀は人権の世紀といわれている。差別の撤廃と人権の確立に向けての取り組みは、

り1名減である。広い町内で十分な活動ができるのか。(3) 中高児童館がだいたい5月号に記載されていない。職員配置は他の2館並に。

(2) 人権推進委員が旧3町各1名ずつだったのが、合併後2名とな

り、今後とも人権教育・啓発は重要と考える。

ない。人権教育・啓発活動は学校、地域、家庭などのあらゆる場を通して積極的に取り組む。(2) 合併協の調整方針に基づいた。厳しい財政事情であり2名体制で一生懸命頑張る。

(1) 介護予防、生活習慣病予防や疾病予防策については、積極的に取り組んでいるが、町民の皆さんの健康に対する思いは一樣に高

(1) 部差差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃と人権の確立については、何よりも積極的に推進しなければなら

(3) 記載もれで、お詫びする。職員配置は開館時間や事業内容が異なるため現時点ではやむを得ない。

# 陳情審査しました

6月定例会に提出された陳情は13件。審査の結果、7件を採択と決定し、うち5件について意見書を国に提出しました。町内分は、前部落からの陳情が1件ありました。

陳情の件名	陳情者の住所・氏名	審査結果
「パートタイム労働者等の均等待遇実現を求める意見書」採択を求める陳情	鳥取市西町3丁目101-2 鳥取県労働組合総連合 議長 前田 吉朗	趣旨採択
「最低賃金の引き上げを求める意見書」採択を求める陳情	〃	趣旨採択
「骨太方針2005」において住民本意の地方財政確立に向けた意見書採択を求める陳情	鳥取市美萩野3丁目102 自治労連鳥取県本部 執行委員長 植谷 和則	採 択 意見書提出
中学校歴史・公民教科書の採択についての陳情	米子市博労町3丁目 鳥取県西部地区革新懇話会 代表 足立 節雄	不採択
「教育基本法の早期改正を求める意見書」提出を求める陳情	米子市錦町2-143 日本会議 鳥取県本部長 廣江 弼	採 択 意見書提出
中学校教科書採択に当って配慮すべきことに関する陳情	米子市東福原 4-14-45 鳥取県教科書改善運動連絡協議会 会長 井上 万吉男	採 択
阿弥陀川の河床堆積土砂・雑木の撤去についての陳情	大山町前部落 代表 大前 満	採 択
「定率減税廃止・縮小の中止を求める意見書」提出に関する陳情	鳥取市天神町30-5 日本労働組合総連合鳥取県連合会 会長 安田 邦夫	採 択 意見書提出
「雇用対策と地域活性化を重視した政府予算編成を求める意見書」提出に関する陳情	〃	採 択 意見書提出
「地域経済の活性化等を求める意見書」提出に関する陳情	〃	趣旨採択
「社会保障制度の抜本改革を求める意見書」提出に関する陳情	〃	採 択 意見書提出
「ILO第175号条約及びILO第111号条約の早期批准を求める意見書」提出に関する陳情	〃	趣旨採択
小泉首相の靖国神社参拝中止を求める意見書の提出についての陳情	米子市博労町3丁目 鳥取県西部地区革新懇話会 代表 足立 節雄	継 続



5月10日～12日 第1回大山町議会臨時会

# 新大山町の議会構成きまる

## 鹿島議長と森田副議長を選任

5月10日から12日まで、3日間の会期で第1回大山町議会臨時会が開かれ、4月24日投票の大山町議会議員選挙で選出された議員が顔をそろえました。始めに、議会議長、副議長の選挙が行われ、投票により、議長に鹿島功議員、副議長に森田増範議員が選出されました。(その他、議会構成は下記のとおり)新しく誕生した町の初議会であり、各特別職の選任、新大山町の条例・規則を始め50件の議案が審議され、全議案を原案通り可決しました。

### 議長就任あいさつ



きたい。そしてまた秩序ある議会活動、そういうものを展開して皆さんと一緒にやって作りあげていきたいと思っています。

たくさんの方のご支援によりまして議長をせよということの結果ができました。私このとおり浅学菲才のものでございますが、一生懸命この新大山町の議会運営に向かっています。特に執行部と議会というものは、車の両輪のごとく、つかず離れず、お互いに切磋琢磨しながらがんばってほしいです。

皆さん方、本当にこの大山町がこれまでにない大山町になるんだという意気込みをひしひしと感じておるわけでございます。私もその一人でございまして、皆さんと一緒に議事を盛り上げていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

## 大山町議会構成

議長	鹿島 功
副議長	森田 増範
議会運営委員会	◎荒松 廣志 ○足立 敏雄 沢田 正己 野口 俊明 二宮 淳一 小原 力三
常任委員会	総務 ◎沢田 正己 ○諸遊 壤司 二宮 淳一 川島 正寿 岡田 聡 吉原美智恵 鹿島 功
	教育民生 ◎野口 俊明 ○近藤 大介 西山富三郎 足立 敏雄 岩井美保子 尾古 博文 森田 増範
	経済建設 ◎小原 力三 ○西尾 寿博 荒松 廣志 椎木 学 秋田美喜雄 敦賀 亀義 遠藤 幸子
特別委員会	議会広報調査 ◎西山富三郎 ○岡田 聡 遠藤 幸子 吉原美智恵 西尾 寿博 近藤 大介
	行財政調査 ◎岡田 聡 ○秋田美喜男 西尾 寿博、敦賀 亀義、川島 正寿、尾古 博文、小原 力三、野口 俊明、沢田 正己、西山富三郎
	新町まちづくり調査 ◎二宮 淳一 ○森田 増範 近藤 大介、吉原美智恵、遠藤 幸子、岩井美保子、荒松 廣志、足立 敏雄、椎木 学、諸遊 壤司

# 総務常任委員会

6月20日、21日、22日の3日間開催し、陳情8件の審査、所管の予算審査と事務調査・現地調査を行なった。

## 公有財産売却

**問** 財源確保のため町の土地を売ることも検討するということだが、そんな土地があるのか。

**答** 赤線（道路）、青線（水路）で、個人の用地と一体になっているところがある。旧名和町では、豊成駐在所が廃止になり土地が残っている。そういうところが結構ある。

## 小地域懇談会

**問** 同和問題小地域懇談会は、新町ではどうするのか。

**答** 引き続き行う。時期は10月から12月にかけて予定している。

## 地籍調査事業

**問** 地籍調査の状況はどうか。

**答** 名和地区は昭和40年代に終わっている。中山地区は、山を中心

に、中山地区は町なかを中心をやっている。現在、年60ヘクタールずつ調査をしているが、このペースでいくとあと50年かかる。

## 同和地区実態調査

**問** 5年に一度の同和地区実態調査が行われるが、調査内容や訪問者は。

**答** 地区内の全戸を訪問して聞き取りする。訪問者は一人で町の職

員が委託を受けて調査する。

（現地調査）

町内の主だった施設を見てまわった。

人権交流センター、大山支所、佐摩診療所、中山活性化センター、ナスパルタウン、町立図書館を調査した。図書館は蔵書も多くCD、ビデオまでそろっており、充実していた。



図書館の受付

# 教育民生常任委員会

6月20日から4日間、陳情3件の審査、所管事務の調査、学校視察等を行った。

断を行う大山小等を視察した。

## （住民生活課）

住民の関心の高い、ゴミ処理の現状、ゴミ袋の有料化等について説明を求め、ゴミの減量化について議論を行った。

## （福祉保健課）

高齢化の進展に伴い、老人医療給付、介護サービス給付の増大が懸念される。日頃の健康づくり施策充実の必要性が再確認された他、名和診療所嘱託医による、介護予防の取り組みが成果を上げつつあるとの報告があり、全町的な取り組みとなるよう要望した。

## （教育委員会）

平成18年度に予定されている名和地区の3小学校統合に伴う名和小学校の新築について、取り組み状況の説明を求めた後、同校および、今年度改築の大山学校給食センター、耐震診

活動報告など  
しました。



改修される大山給食センター

## 産業建設常任委員会

6月20日、21日、22日、陳情1件を審査し、所管事務調査を行った。その他2箇所の現地調査も行なった。

### 陳情の現地調査

阿弥陀川に堆積した土砂・雑木の撤去を要求する陳情が前部落区長から提出された。

現地を確認したところ、大水が出ると堤防が決壊し、農地や家屋にも被害が及ぶ危険性が認められた。

県に要望するよう委員会は採択すべきものとした。

### 財産区の状況は

**問** 中山地区の財産区の面積、固定資産税は。

**答** 中山・上山・下

中山・逢坂の4つの財産区があり、面積は全部で1200ヘクタールある。

ほとんどが保安林のため無税で、勝手に伐採もできない。

### 山香荘の利用は

**問** 山香荘の一般会計繰入金が、1148万円あるが、利用状況はどうか。

**答** 芝のサッカー場(2面)が売り物であるが、年々利用が減っている。リンゴの時期はまだ良いが冬場の利用がない。これから大山と連携をとりながら検討をしていく。

委員会の  
調査・審査

### ナスパルタウンの売れ行きは

**問** 造成した区画数と売れ残りの状況は。

**答** 中山地区のナスパル団地は、110戸のうち69戸が売れ残っている。

**問** 最近の申し込み状況と、今後の対策は。

**答** 4月以降に2件申し込みがあった。本庁・支所協力し、さらに専門家に委託することも考えながら営業努力をしていく。

### スキー場のリフト

**問** 索道事業(リフトのこと)の状況は。

起債(借金)の償還が終わったので来年は3500万円くらいの黒字になる見込みである。

**問** 大山町の小・中学生のリフト券は、どのようになるのか。

**答** 旧大山町では高校生まで無料だったが、現在検討中。



現地で前部落区長から説明を受ける。



町営リフトが4基設置してある中ノ原スキー場。

# みんなのひろば



## 絵本と私

横川 佐津子



(長田)

柳田邦男さんの「おとなにすめる絵本」がテレビで放映されていた。とても興味があったが、出かける前没有时间がなくちらちら見ていたら、美しい挿絵が写し出された。どうしても読みたくて題名

だけをメモし、帰りに書店に直行。どこにも無く取り寄せとなった。ここ数年前から好きだった読書が出来無くなった。若い頃は一気に読めた1冊の本が読めなくなり歳と共に脳の低下が始まっている、

これではだめだ、何とかして前頭野を働かせる生活をしなければと焦っていたところ、この1冊の本に出会い心のオアシスが静かに潤っていくのを感じた。3月に柳田邦男さんの講演を聞き、絵本のそ

れぞれの物語の奥深さに感動した。「絵本は人生に三度読むべきもの」この言葉に、私も絵本を座右に心豊かに日々を過ごしたいと思う。

## ロードレースを

### 大山町で!

平谷 茂夫



(曲松)

私は、旧中山町まちづくり実行委員会の中でサイクリング専門委員会の委員長を、去年からやっています。今まで自転車競技とは、まったく無縁でしたが、県内の自転車競技選手レベルが、全国のト

ップクラス(全国高校大会優勝者2名・入賞者多数)と聞いておどろきました。今大山町に自転車の全国ロードレース大会を誘致しようという話があります。課題は多いでしょうが、ぜひとも誘致し

てほしいです。大山町が自転車競技の町、そうなることを、私は願っております。

## 新町によせて

渡部 トキ子



(御来屋7区)

毎日、明るく元気に！をモットーに皆さんの自宅を回っています。大山町は、海と山に恵まれ、環境は素晴らしい所だと思っています。自転車で一日中走り回っていますが、時々道端にゴミがポンプ

ン捨ててあり、心が痛みます。また、名和神社が、いつまでも修復されないままで、春のお祭りも年々寂しくなり、気にかかります。日頃の生活の中で、ゴミ袋のことで、いろいろ不便な思いをして

いるので、もう一度見直して欲しいと思います。私達もいろいろなことを背負って頑張っているの、町政のほうもよろしく願います。

## あとがき

議会だよりは議会公開の原則によるものです。

議会の傍聴にこれられない一般住民にとって、居ながらにして議会の動きや議員の言動、それを通じて、わが町の政治の当面する課題を知らせる紙の傍聴席です。議会と住民との距離が開いてしまわないように原点に戻って、ありのままに住民とともに、わかりやすい編集に励みます。

記念すべき創刊号です。ご意見ご感想をお寄せ下さい。

(富)

## 《広報委員会》

委員長	西山富三郎
副委員長	岡田 聰
委員	遠藤 幸子
委員	吉原美智恵
委員	西尾 寿博
委員	近藤 大介